

事務事業名	市観光協会関係費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
												新部課名	経済部観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 不明 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	観光客に対する利便を図るため、観光行政の一翼を担う(公社)藤沢市観光協会に対し、観光案内業務を委託する。また内容の一層の充実を図るため人件費補助を行う。						
対象	4. その他	観光客(海水浴客数を除く)			約	11,302	千人
根拠法令等	その他(要綱等) 公益社団法人藤沢市観光協会補助金交付要綱						
事業実施内容	観光客に対する案内サービスを提供するため、片瀬江の島観光案内所、観光センター、湘南藤沢コンシェルジュの3カ所で案内業務を行った。また、公益社団法人藤沢市観光協会の事業運営を行う観光センター本部職員に対する人件費の補助を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 公益社団法人藤沢市観光協会) (委託等内容 : 観光案内業務委託) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 公益社団法人藤沢市観光協会人件費補助金) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 105,204 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	39,511 千円	観光案内業務委託
		負担金補助及び交付金	65,693 千円	公益社団法人藤沢市観光協会人件費補助
財源内訳	R2年度 支出済額 105,204 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	105,204 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.65人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.65人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	110,686	110,906	116,744	111,251			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	110,812	110,960	116,740	110,800			
	事業費(支出済額)	105,978	106,141	111,880	105,204			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,834	4,819	4,860	5,596			
	①常時勤務職員等の給与等	4,610	4,584	4,571	5,244			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	224	235	289	352			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-126	-54	4	451			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-126	-54	4	451			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	258.91	427,501	258.33	429,317	269.58	433,060	255.68	435,121

成果実績	指標名	観光客数(海水浴客を除く)	目標	13,051	単位 千人	13,181	単位 千人	13,312	単位 千人	13,444	単位 千人
			実績	14,941	単位 千人	16,820	単位 千人	17,748	単位 千人	11,302	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			7,408.21	6,593.70	6,577.87	9,843.48					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	公益社団法人藤沢市観光協会の設立目的である「地域社会・文化の健全な発展及び地域経済の振興に寄与するため、効率的かつ総合的な事務事業の遂行が可能となるよう、将来を担う職員の人材育成に取り組む必要がある。また、新型コロナウイルスの影響により先行きが不透明であることから、観光施策推進のためのさらなる対策を講じる必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	公益社団法人藤沢市観光協会とともに、将来を見据えた職員力の強化のため、必要な研修や他団体派遣等の具体的プランを検討する。また、引き続き緊密に連携し、適切な役割分担のもと、事業を推進していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、社会情勢や観光を取り巻く環境が大きく変化中、新しい生活様式やガイドラインに基づく観光案内等を実践するとともに、観光協会の人材育成の面においても、適切な対応を図った。また、同協会とともに事業の費用対効果の検証を行い、東京2020大会やウィズコロナ・ポストコロナを見据え、柔軟かつ機動的に対応するため、次期観光振興計画策定までの暫定的な方針として、藤沢市観光経済再活性化プランを策定した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	観光行政の一翼を担う公益社団法人藤沢市観光協会に対し、観光客に対する利便を図るため、今後も観光案内業務の委託や人件費補助を行うとともに、観光協会の人材育成に段階的に取り組む。また、藤沢市観光経済再活性化プランに基づき、地域経済の下支えを図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
44	観光協会案内業務委託・人件費補助に関すること	無	無	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良平	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	観光総務関係事務費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
												新部課名	観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	01	細目	003	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 不明 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	観光行政の推進及び円滑化を図るための事務費及び広域的な観光事業を展開・推進する各種観光団体へ負担金を支出し、各事業に参画する。						
対象	4. その他	観光客(海水浴客数を除く)			約	11,302	千人
根拠法令等	その他(要綱等)						
事業実施内容	公益社団法人神奈川県観光協会等が実施する広域観光宣伝事業等へ参画し、有効な観光宣伝の展開を図り、また最新の観光情報を収集するため、同協会等に加盟し、それに伴う負担金を支出。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 神奈川県観光振興対策協議会ほか7団体) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 1,325 千円	事業費節別内訳		主な事業内容												
		費目	支出済額 (千円)													
		旅費	33 千円		普通旅費											
		需用費	39 千円		消耗品費											
財源内訳	R2年度 支出済額 1,325 千円	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.50人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50人工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.00人</td> </tr> </table>		令和2年度	常時勤務職員※	0.50人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.50人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
			令和2年度													
		常時勤務職員※	0.50人工													
		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工													
		合計	0.50人工													
		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く														
会計年度任用職員(配置数)	0.00人															
費目	支出済額 (千円)															
分担金・負担金																
使用料・手数料																
国庫支出金																
県支出金																
その他 ()																
一般財源	1,325 千円															

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	6,473	6,229	6,479	5,629			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,599	6,283	6,475	5,630			
	事業費(支出済額)	1,765	1,464	1,615	1,325			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,834	4,819	4,860	4,305			
	①常時勤務職員等の給与等	4,610	4,584	4,571	4,034			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	224	235	289	271			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-126	-54	4	-1			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-126	-54	4	-1			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	15.14	427,501	14.51	429,317	14.96	433,060	12.94	435,121

成果実績	指標名	観光客数(海水浴客数を除く)	目標	13,051	単位 千人	13,181	単位 千人	13,312	単位 千人	13,444	単位 千人
			実績	14,941	単位 千人	16,820	単位 千人	17,748	単位 千人	11,302	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			433.24	370.33		365.06		498.05			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	本事業は、広域的な観光事業を展開・推進する各種観光団体への負担金の抛出が主である。各団体においては、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しつつ、事業を展開する必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	負担金対象の観光団体での今後の事業について、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、事業計画の検討に参入する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	観光行政の推進及び円滑化を図るための事務費及び広域的な観光事業を展開・推進する各種観光団体等への負担金を支出し、各事業に参画することにより、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら県内外の観光情報を収集し、広域的な観光事業の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	観光行政の推進及び円滑化を図るため、現状では継続して広域的な観光事業を展開・推進する各種観光団体等への負担金を支出し、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、各事業の計画に参画することにより、県内外の観光情報を収集し、広域的な観光事業の推進を図る必要があると考える。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
9	富士箱根伊豆国際観光テーマ地区協議会に関すること	無	無	3	1
10	神奈川県観光協会に関すること	無	無	3	1
11	神奈川県観光振興対策協議会に関すること	無	無	3	1
12	湘南地区観光振興協議会に関すること	無	無	3	1
13	湘南地区観光振興協議会事業予算の支出・収入に関すること	無	無	3	3
14	鎌倉・藤沢観光協議会に関すること	無	無	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良平	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	江の島マイアミビーチショー負担金										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
												新部課名	観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 不明 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	各種海浜イベントを開催する江の島マイアミビーチショー事業を実施する。本市における観光資源を活用し誘客宣伝活動を行うことにより、多くの観光客の集客に努め、地域経済の活性化を図る。 なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、海水浴場が開設されなかったことから、次年度以降の海水浴客の誘客に向けた取り組みを実施する。						
対象	4. その他	海水浴客	約	256	千人		
根拠法令等							
事業実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、海水浴場が開設されなかったことを受け、次年度以降の海水浴客の誘客に向けた取り組みとして、街頭ビジョン等での放映を想定したアニメーションCMの制作を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 公益社団法人藤沢市観光協会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額	事業費節別内訳		主な事業内容													
	2,652 千円	費目	支出済額 (千円)														
		負担金補助及び交付金	2,652 千円		江の島マイアミビーチショー負担金, オンライン花火事業負担金												
財源内訳	R2年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)													
	2,652 千円	費目	支出済額 (千円)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.75人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.75人工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.00人</td> </tr> </table>		令和2年度	常時勤務職員※	0.75人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.75人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
			令和2年度														
		常時勤務職員※	0.75人工														
		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工														
		合計	0.75人工														
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く																	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人																
分担金・負担金																	
使用料・手数料																	
国庫支出金																	
県支出金																	
その他 ()																	
一般財源	2,652 千円																

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	行政費用 A	14,559	11,509	12,439	9,105			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	14,810	12,370	12,432	9,108			
	事業費(支出済額)	5,143	5,143	5,143	2,652			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,667	7,227	7,289	6,456			
	①常時勤務職員等の給与等	9,219	6,875	6,856	6,050			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	448	352	433	406			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-251	-861	7	-3			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-251	-861	7	-3			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	34.06	427,501	26.81	429,317	28.72	433,060	20.93	435,121

成果実績	指標名	海水浴客数	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績			1,539	単位 千人	1,571	単位 千人	1,551	単位 千人	256	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	海水浴場の性質上、賑わいの創出は天候に左右される面が大きい。なお、令和2年度は海水浴場が開設されていないため、海岸利用者の推計値。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				9,460.04		7,325.91		8,019.99		35,566.41	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、マイクロリズム化が顕著となっていることや、街頭宣伝によるチラシの配布は敬遠されることを鑑み、今後の事業の宣伝効果をより効果的なものにするべく、実施方法や実施場所などを見直す必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	海水浴場開設者である海水浴場組合や交通事業者、観光事業者等と連携しながら、本事業の実施による効果検証を行い、減少する海水浴客に歯止めをかけるための誘客事業を推進する。また、令和2年度に制作したアニメーションCMを活用し、家族層の利用が増加するよう取組を進める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	海水浴場が開設されなかったことに伴い、当該事業の実施内容を変更せざるを得ない状況ではあったが、次年度以降の誘客の一つとして、アニメーションCMの制作が実現できたことは、今後の海水浴場の賑わい創出に寄与する。
今後の方針	<p>事業の方向性 現状維持</p> <p>全国屈指の海水浴場を有する本市として、今後も引き続き本事業を行うことにより、さらなる海水浴場の賑わいを創出する。これと併せ、各種観光団体での活動実績等を踏まえ、適宜効果検証を行い、減少する海水浴客に歯止めをかけるための誘客事業を推進する。加えて、江の島マイアミビーチショー事業という事業名称による波及効果の程度を計るとともに、大半が花火大会開催費用であることを考慮し、開催手法の検討や他事業との統合の可能性についても模索する。</p>

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
19	江の島マイアミビーチショーに関すること	無	無	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良一	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	湘南江の島フェスティバル事業費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課				
												新部課名	観光課				
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	細目	001	説明	03	課等の長	木村 嘉文	電話	3421	

1. 事業概要

事業開始年度	昭和	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	通年型観光地づくりを目指し、新たな観光資源の発掘、既存の観光資源の有効活用について、地元観光事業者等と連携し、一体となった事業展開を行う。																
対象	4. その他		観光客(海水浴客を除く)										約	11,302		千人	
根拠法令等																	
事業実施内容	「江の島大道芸フェスティバル」、「龍の口竹灯籠」、「ふじさわ江の島花火大会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、「湘南江の島春まつり」は政府からの緊急事態宣言延長を受け、稚児行列以外の催しを全て中止した。湘南の宝石事業は分散型観光の観点から開催期間を11/21～3/7までと通常より3週間ほどを延長し、エリアを拡大して実施した。期間後半の装飾変更を施す「湘南の宝石フィナーレ」は、政府からの緊急事態宣言延長を受け中止した。また、中止となった「ふじさわ江の島花火大会」による地域経済への影響を考慮し、代替として湘南江の島フェスティバル事業費を湘南キャンドル(10月17日～11月8日)の事業費の一部に充当した。																
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 湘南江の島春まつり実行委員会, 湘南の宝石実行委員会, 湘南藤沢ナイトツーリズム推進協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 11,366 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	11,366 千円	湘南キャンドル・湘南の宝石・湘南江の島春まつり
財源内訳	R2年度 支出済額 11,366 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	11,366 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.25人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.25人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	21,413	24,298	26,117	22,260			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	21,727	24,433	26,106	22,265			
	事業費(支出済額)	9,643	12,388	13,958	11,366			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	12,084	12,045	12,148	10,899			
	①常時勤務職員等の給与等	11,524	11,459	11,426	10,084			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	140			
	③退職金相当額	560	586	722	676			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-314	-135	11	-5			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-314	-135	11	-5			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	50.09	427,501	56.60	429,317	60.31	433,060	51.16	435,121

成果実績	指標名	イベント来場者数(湘南キャンドル, 湘南の宝石)	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績			195,059	単位	324,235	単位	189,714	単位	165,445	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	特定期間に屋外で実施されるイベントで、賑わいの創出は天候に左右される面が大きいので、目標設定ができない。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				109.78		74.94		137.67		134.55	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	通年型観光地として定着した平面、新規来場者はもとより、リピーターの獲得につながるよう、来場者を飽きさせない事業手法の工夫を行う。また、ウィズコロナを意識した事業展開が求められる。
(2) 課題解決のための今後の取組	通年型観光地づくりを目指した新たな観光資源の発掘、既存の観光資源の有効活用について、地元観光事業者と連携し、SNSに映えるようなスポットを創作するなど、これまでの事業を継続するとともに、新たな魅力を創出する。また、ウィズコロナを踏まえた事業の見直しや、徹底した感染対策を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	通年型観光地づくりを目指した新たな観光資源の発掘、既存の観光資源の有効活用について、地元観光事業者と連携し一体となった事業展開を行った。本事業により秋から春にかけて季節に応じた事業展開を図り、多くの観光客を集め、地域経済の活性化及び観光振興に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	新型コロナウイルス感染症の影響により、早期の経済回復を図るため、観光事業者と緊密に連携し、今後も継続して実施する。また、各種事業の実施にあたり、新たな財源確保の可能性について研究する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
20	花火大会に関すること	無	無	3	1
21	江の島大道芸コンテストに関すること	無	無	3	1
22	龍の口竹灯籠に関すること	無	無	3	1
23	湘南江の島春まつりに関すること	無	無	3	1
42	江no・Fesに関すること	無	無	3	3
43	湘南の宝石に関すること	無	無	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良平	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	海水浴場対策費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
												新部課名	観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 34 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	海水浴場の安全性及び快適性を守るため、各海水浴場組合に対して救護警備費の一部を助成する。また藤沢市夏期海岸対策協議会に対して危険防止施設設置費等の一部を助成する。 なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、海水浴場が開設されなかったが、海岸利用者の安全管理の一環として、本市独自のライフセーバーの配置や海水浴場組合による安全管理を実施。						
対象	1. 個人	海水浴客	約	256	千人		
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市海水浴場対策事業補助金交付要綱						
事業実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、海水浴場が開設されなかったが、海岸の利用者が一定数いることを想定し、海岸での事故防止の一環として、本市独自のライフセーバーの配置や海水浴場組合への委託による安全管理を実施。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 藤沢市夏期海岸対策協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 31,911 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	31,911 千円	藤沢市夏期海岸対策協議会補助金
財源内訳	R2年度 支出済額 31,911 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	31,911 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	34,003	34,060	36,790	36,215			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	34,129	34,114	36,786	36,216			
	事業費(支出済額)	29,295	29,295	31,926	31,911			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,834	4,819	4,860	4,305			
	①常時勤務職員等の給与等	4,610	4,584	4,571	4,034			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	224	235	289	271			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-126	-54	4	-1			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-126	-54	4	-1			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	79.54	427,501	79.34	429,317	84.95	433,060	83.23	435,121

成果実績	指標名	海水浴客数	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績			1,539	単位 千人	1,571	単位 千人	1,551	単位 千人	256	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	海水浴場の性質上、賑わいの創出は天候に左右される面が大きいため、目標設定ができない。なお、令和2年度は海水浴場が開設されていないため、海岸利用者の推計値。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				22,094.22		21,680.46		23,720.18		141,464.84	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	コロナ禍における海水浴場の賑わいの創出と安全性の確保についての調和を取ることが必要。
(2) 課題解決のための今後の取組	引き続き、海水浴場の開設者である海水浴場組合等と連携し、海水浴場の賑わいの創出と安全性の確保に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	コロナ禍における本市独自の取組として「藤沢市夏期海岸モデル2020」を策定・実施し、海水浴場組合やライフセーバー、藤沢市サーフィン協会など、海水浴場が開設されない中でも、夏期の海岸に関する各関係者との連携・協力がなされ、期間中の無事故が達成された。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後はコロナ禍における海水浴場の開設について、海水浴場の開設に関するガイドラインを発出する神奈川県との動向を注視しつつ、海水浴場組合をはじめとする関係機関と連携し、対策等を検証する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
54	夏期海岸対策協議会に関すること	無	有	3	
55	夏期海岸対策協議会事業予算の支出・収入に関すること	無	有	3	3
56	海水浴場救護警備補助金に関すること	無	有	3	3
57	海岸たばこ対策に関すること	無	有	3	
58	養浜に関すること	無	有	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良平	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	観光施設管理費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
												新部課名	経済部観光課			
	予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目		001	説明	01	課等の長	木村 嘉文

1. 事業概要

事業開始年度	昭和	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	観光客の利便性,市民サービスの向上を図るため,江の島周辺及び島内の施設(観光センター,観光案内所,江の島噴水池,観光案内サイン,中津宮広場,亀ヶ岡広場,龍野ヶ岡自然の森,稚児ヶ淵レストハウス等)の良好な維持管理に努める。									
対象	4. その他		観光客(海水浴客を除く)					約	11,302	千人
根拠法令等										
事業実施内容	観光客の利便性,市民サービスの向上を図るため,江の島周辺及び島内の施設(観光センター,観光案内所,江の島噴水池,観光案内サイン,中津宮広場,亀ヶ岡広場,龍野ヶ岡自然の森,稚児ヶ淵レストハウス等)の保守,点検,清掃,警備等を実施。									
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 公益社団法人藤沢市観光協会, 株式会社ビルメンテナンス湘南リコーほか) (委託等内容 : 藤沢市観光センター総合管理業務委託, 観光施設清掃業務委託 ほか) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()									

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 32,075 千円	事業費節別内訳		主な事業内容								
		費目	支出済額(千円)									
		報償費	182 千円		茶毒蛾消毒作業謝礼							
		需用費	7,364 千円		消耗品,施設修繕費,観光施設光熱水費電気代・上下水道代							
		役務費	2,297 千円		通信運搬費電信電話料,手数料,保険料(施設賠償責任保険他)							
財源内訳	R2年度 支出済額 32,075 千円	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.75人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.75人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人		令和2年度	常時勤務職員※	0.75人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.75人工
			令和2年度									
		常時勤務職員※	0.75人工									
		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工									
		合計	0.75人工									
費目	支出済額(千円)											
分担金・負担金												
使用料・手数料	14,111 千円											
国庫支出金												
県支出金												
その他(光熱水費実費収入)	576 千円											
一般財源	17,388 千円											

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	33,826	34,255	35,179	42,950			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	29,592	29,914	30,750	38,531			
	事業費(支出済額)	22,342	22,687	23,461	32,075			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,250	7,227	7,289	6,456			
	①常時勤務職員等の給与等	6,914	6,875	6,856	6,050			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	336	352	433	406			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,234	4,341	4,429	4,419			
	①減価償却費	4,422	4,422	4,422	4,422			
	②退職給与引当金繰入額	-188	-81	7	-3			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	79.12	427,501	79.79	429,317	81.23	433,060	98.71	435,121

成果実績	指標名	観光客数(海水浴客を除く)	目標	13,051	単位 千人	13,181	単位 千人	13,312	単位 千人	13,444	単位 千人
			実績	14,941	単位 千人	16,820	単位 千人	17,748	単位 千人	11,302	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			2,263.97		2,036.56		1,982.14		3,800.21		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設が老朽化する一方、適切な維持管理が求められることから、費用対効果の高い事業実施が求められる。
(2) 課題解決のための今後の取組	選ばれる観光地として、観光客の満足度の向上と事業費の抑制の両面について検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	観光案内所などの施設の良い維持管理に努めるとともに、令和2年度には中津宮トイレの供用が開始し、観光客の利便性、市民サービスの向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	観光案内所などの施設の良い維持管理は、本市を訪れる観光客へのおもてなしの基本であるため、今後も継続して事業を実施し、観光客の利便性、市民サービスの向上を図る。ただし、観光客の満足度の向上と事業費の抑制の両面についても検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
64	観光施設の維持管理(観光センター、案内所、レストハウス、噴水池)に関すること	有	有	3	1
65	駐輪場の維持管理に関すること	有	有	3	1
66	龍野ヶ岡自然の森の維持管理に関すること	有	有	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良平	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	江の島岩屋運営事業費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課				
												新部課名	経済部観光課				
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	002	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421	

1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	文化的、歴史的な観光施設である江の島岩屋の維持管理を実施する。						
対象	4. その他	観光客(江の島岩屋入洞者)	約	225	千人		
根拠法令等	条例(市)	藤沢市江の島岩屋条例					
事業実施内容	江の島岩屋施設の維持管理運営について、指定管理者である(公社)藤沢市観光協会とともに、安全管理のため保守点検を実施。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : 公益社団法人藤沢市観光協会, 日本エンジニアリング株式会社) (委託等内容 : 江の島岩屋維持管理, 保守点検業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 85,250 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	12,709 千円	施設修繕費
		役務費	43 千円	傷害保険料・損害保険料
		委託料	72,448 千円	指定管理料, 保守点検委託料
		使用料及び賃借料	50 千円	県土木目的外使用料
財源内訳	R2年度 支出済額 85,250 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	85,250 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.75人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.75人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	69,934	79,065	80,997	91,861			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	70,884	78,348	80,972	91,846			
	事業費(支出済額)	66,050	71,121	73,683	85,250			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,834	7,227	7,289	6,596			
	①常時勤務職員等の給与等	4,610	6,875	6,856	6,050			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	140			
	③退職金相当額	224	352	433	406			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-950	717	25	15			
	①減価償却費	18	18	18	18			
	②退職給与引当金繰入額	-968	699	7	-3			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	163.59	427,501	184.16	429,317	187.03	433,060	211.12	435,121

成果実績	指標名	観光客数(江の島岩屋 入洞者数)	目標	238	単位 千人	242	単位 千人	246	単位 千人	250	単位 千人
			実績	267	単位 千人	362	単位 千人	267	単位 千人	225	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			261,925.09	218,411.60	303,359.55	408,271.11					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設が老朽化する一方、適切な維持管理が求められることから、費用対効果の高い事業実施が求められる。
(2) 課題解決のための今後の取組	市を代表する観光施設として、ウィズコロナを踏まえた適切な管理運営をしていくと共に、観光客の満足度向上と事業費の抑制の両面について検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	本市の観光資源を適切に維持管理することにより、観光振興が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市の代表的な観光施設を適切に維持管理するとともに、指定管理者と緊密に連携し、観光客の満足度向上に繋がる取組を行う。また、平成29年10月の台風高潮被害により岩屋施設が大規模な損壊を受け、その復旧には多額の費用を要するとともに、復旧工事期間中は営業停止を余儀なくされ大幅な収益減となったことから、今後安定的に施設を維持・管理をしていくため、使用料の在り方について整理検討する必要がある。併せて、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、適宜、適切な対応を図っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
68	江の島岩屋の維持管理に関すること	有	有	3	1
71	江の島岩屋の運営(指定管理)に関すること	有	有	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良平	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	江の島サムエル・コッキング苑管理費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課				
												新部課名	経済部観光課				
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421	

1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	文化的、歴史的な観光施設である江の島サムエル・コッキング苑の維持管理を実施する。						
対象	4. その他	入苑者			約	448	千人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例					
事業実施内容	文化的、健康的な観光施設である「江の島サムエル・コッキング苑」の管理運営を行った。入場者数の増加を維持するには、新規の来訪者だけではなく、リピーターの確保が重要であり、そのために適正な管理運営に努めるとともに、1年を通じて様々なイベントを実施した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : 江ノ島電鉄株式会社) (委託等内容 : 江の島サムエル・コッキング苑管理運営業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 75,453 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	891 千円	施設修繕費
		役務費	95 千円	傷害保険料・損害保険料
		委託料	74,325 千円	指定管理料, 保守点検委託料
		使用料及び賃借料	142 千円	県土木目的外使用料
財源内訳	R2年度 支出済額 75,453 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	55,790 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	19,663 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.75人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.75人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	65,420	84,770	85,425	86,754			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	60,900	80,143	80,710	82,049			
	事業費(支出済額)	53,650	72,916	73,421	75,453			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,250	7,227	7,289	6,596			
	①常時勤務職員等の給与等	6,914	6,875	6,856	6,050			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	140			
	③退職金相当額	336	352	433	406			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,520	4,627	4,715	4,705			
	①減価償却費	4,708	4,708	4,708	4,708			
	②退職給与引当金繰入額	-188	-81	7	-3			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	153.03	427,501	197.45	429,317	197.26	433,060	199.38	435,121

成果実績	指標名	観光客数 (江の島サムエル・コッキング苑 入洞者数)	目標	590	単位 千人	595	単位 千人	600	単位 千人	605	単位 千人
			実績	842	単位 千人	878	単位 千人	808	単位 千人	448	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			77,695.96	96,548.97	105,724.01	193,647.32					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設が老朽化する一方、適切な維持管理が求められることから、費用対効果の高い事業実施が求められる。
(2) 課題解決のための今後の取組	市を代表する観光施設として、ウィズコロナを踏まえた適切な管理運営をしていくと共に、観光客の満足度向上と事業費の抑制の両面について検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	本市の観光資源を適切に維持管理することにより、観光振興が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市の代表的な観光施設を適切に維持管理するとともに、指定管理者と緊密に連携し、観光客の満足度向上に繋がる取組を行う。また、使用料のあり方については、指定管理者との協議・調整を進め、適正な額について整理検討する必要がある。併せて、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、適宜、適切な対応を図るとともに、観光施設としての魅力度向上を検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
69	江の島サムエル・コッキング苑の維持管理に関すること	有	有	3	1
72	江の島サムエル・コッキング苑の運営(指定管理)に関すること	有	有	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良平	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	片瀬東浜駐車場運営事業費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
												新部課名	観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	004	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	片瀬東浜駐車場の運営により、観光客の利便性向上と各種観光事業の円滑な運営を図る。						
対象	4. その他	観光客(片瀬東浜駐車場利用者)			22,113	台	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市片瀬東浜駐車場条例					
事業実施内容	指定管理者である(公社)藤沢市観光協会とともに、片瀬東浜駐車場の維持管理運営を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : 公益社団法人藤沢市観光協会) (委託等内容 : 片瀬東浜駐車場維持管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 18,263 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	300 千円	施設修繕費
		役務費	5 千円	傷害保険料・損害保険料
		委託料	17,958 千円	指定管理料
財源内訳	R2年度 支出済額 18,263 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	18,263 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	22,231	22,294	22,247	22,706			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	22,357	22,348	22,243	22,707			
	事業費(支出済額)	17,523	17,529	17,383	18,263			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,834	4,819	4,860	4,444			
	①常時勤務職員等の給与等	4,610	4,584	4,571	4,034			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	140			
	③退職金相当額	224	235	289	271			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-126	-54	4	-1			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-126	-54	4	-1			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	52.00	427,501	51.93	429,317	51.37	433,060	52.18	435,121

成果実績	指標名 観光客数 (片瀬東浜駐車場利用台数)	目標	19,660	単位 台	19,940	単位 台	20,200	単位 台	24,200	単位 台
		実績	24,260	単位 台	23,070	単位 台	22,802	単位 台	22,113	単位 台
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		916.36	966.36	975.66	1,026.82					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設が老朽化する一方、適切な維持管理が求められることから、費用対効果の高い事業実施が求められる。
(2) 課題解決のための今後の取組	観光客の満足度の向上と事業費の抑制の両面について検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	本市の観光資源を適切に維持管理することにより、観光振興が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	本市を訪れる観光客への利便性向上のため、今後も継続して事業を実施し、施設を適切に維持管理することにより、観光振興を図る。ただし、駐車場利用料金のあり方について整理検討する必要がある。また、ニーズが高まっているキャッシュレス決済について、令和3年度の導入に向け対応を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
70	片瀬東浜駐車場の維持管理に関すること	有	有	3	1
73	片瀬東浜駐車場(指定管理)の運営に関すること	有	有	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良平	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	観光施設台風被害復旧等対応費(繰越分)										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
												新部課名	経済部観光課			
	予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目		005	説明	01	課等の長	木村 嘉文

1. 事業概要

事業開始年度	平成 29 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	平成29年10月に襲来した台風第21号により、本市の重要な観光施設である藤沢市江の島岩屋が被害を受けたため、営業の再開に向けた復旧工事等を行う。						
対象	4. その他	観光客(江の島岩屋入洞者)	約	225	千人		
根拠法令等							
事業実施内容	台風被害を受けた藤沢市江の島岩屋及び周辺施設について、本復旧工事等を実施。(一部令和元年度から明許繰越)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 66,752 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		工事請負費	66,752 千円	江の島岩屋施設復旧工事(第2工区)
財源内訳	R2年度 支出済額 66,752 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他(観光施設整備債)	44,400 千円			
一般財源	22,352 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	0	0	0	67,927			
	(1)現金を伴う支出(千円)	0	0	0	67,625			
	事業費(支出済額)				66,752			
	償還金利息				12			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	0	861			
	①常時勤務職員等の給与等				807			
	②会計年度任用職員の報酬等				0			
	③退職金相当額				54			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	0	0	0	302			
	①減価償却費				0			
	②退職給与引当金繰入額				302			
	③不納欠損額				0			
	④その他()				0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	427,501	0.00	429,317	0.00	433,060	156.11	435,121

成果実績	指標名	観光客数(江の島岩屋 入洞者数)	目標	—	単位 千人	242	単位 千人	246	単位 千人	250	単位 千人
			実績	—	単位 千人	362	単位 千人	267	単位 千人	225	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—		0.00		0.00		301,897.78			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	本施設の立地状況から、台風被害発生時には、台風シーズンを避けながら施工する必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	関係部署と調整を図り、適切かつ迅速に復旧工事を施工する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	庁内での連携体制により、本復旧工事を行い、観光客の利便性の向上を図るとともに、江の島の回遊性が回復し、経済の回復にも寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	台風被害等の発生時には、速やかに対応し、施設の早期復旧と江の島の回遊性の確保を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
64	台風や地震等、自然災害の被害復旧に関すること	有	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	中山 良平	確認日	2021/8/10
----	-----	----	-------	-----	-----------